

国際ロータリー第2570地区

Rotary



東松山むさし  
ロータリークラブ

HIGASHIMATSUYAMA MUSASHI ROTARYCLUB



ロータリーは機会の扉を開く

1121例会 2021年4月22日(木)ガーデンホテル紫雲閣19時点鐘 会長：神田 茂 幹事：鯨井美知子  
RI:ロータリーは機会の扉を開く (Let's make fellows) 友達を作ろう！

出席報告：23名 メーキャップ0名 欠席17名 主席率：57.5.0%

会長方針：ロータリアンは手を携えて 月間テーマ：母子の健康月間

本日のプログラム

ZOOM会議

神田会長



柳下研修委員長 ポリオ根絶



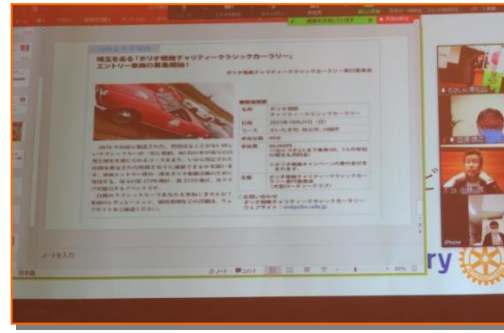
チャリティークラシックカーラリー



大澤社会奉仕委員長



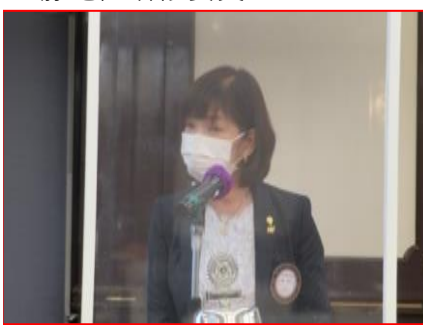
小藤地区研修委員



ZOOM参加笠原：小林：森田会員



高橋会員



ニコニコボックス 本日もたくさん頂きました！

神田会長：ZOOM参加者の皆様近況報告宜しくお願いします。鯨井幹事：ZOOMでの参加の例会楽しみですね。林好久：家内の誕生日に観葉植物が届きました。ありがとうございます。山下茂：楽しいロータリー生活をしたいですね。原口茂治：今日も元気で楽しく。高橋昇：コロナが早く終息しないと困りますね！コロナ太りで大変です。大澤幸吉：5月22日ピオニーパーク花の植え替え、ベンチのペンキ塗りしますので会員の皆さんご協力お願いします。鈴木幹枝：誕生日のワインありがとうございました。とても美味しかったです！小藤恵美子：コロナに負けずもう少しがんばりましょう。長谷地貢：また皆さんと普通に逢える日が来ることを期待しています。皆さんはお元気でしょうか？

会報委員長：鈴木幹枝

### R 3. 4. 2 2 第 1 1 2 1 回 会長の時間

前回の「希望の風奨学金」の寄付例会例会では、目標額を達成する事が出来ました。ご協力ありがとうございました。この寄付金は、希望の風地区顧問坂本様及び副委員長矢島様のアドバイスにより、当クラブの独自事業として、地区を通さずに送金する事としました。

本日は、ZOOMを活用した例会です。

むさしRC定款第7条には、例会は「直接顔をあわせるか、電話で、オンラインで参加できる。」とあります。

コロナ禍の中、対面とオンラインの併用で、例会参加の機会を確保したいと思います。出席できないが例会の時間は空いているという方は、出先からスマホで参加することも可能です。ぜひ、ZOOMをインストールして、メールアドレスのご連絡をお願いします。

さて、RI会長エレクト・インドの**シェカール・メータ氏**が2021-22年度の会長テーマを発表しました。**メータ氏**は、不動産開発会社の会長で、会計士でもあります。

#### **メータ氏のテーマ講演を引用します。**

ロータリークラブに入会したばかりの頃、手足が不自由な人のためのキャンプをクラブが実施しました。クラブはそこで、足の矯正具や義肢、ハンドサイクルを配布しました。全会員が役割を分担し、私の担当は、ハンドサイクルを受け取る人が、手で車輪をこぐ力があるかどうかを確認することでした。私は、担当場所に立ち、ハンドサイクルを受け取りに来る人を待っていました。すると、ある人が地を這って私に近づいてきました。その人は足がなく、這うことしかできなかったのです。私は彼に向かって手を差し出しましたが、その瞬間、正直なところ、私の頭にあったのはその人のことではなく、自分のことでした。自分の清潔さや健康について考えたのです。彼の手を握りたくありませんでした。しかし、彼の手を握り、その後もやって来る人2、3人の手を握りながら、自分のことだけを考えていました。しかし、6、7人目の後に突然、この人たちが抱える苦境に共感し、彼らの痛みと困難を感じ、**自分よりも彼らのことを考えるようになったのです。その瞬間、私は、単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになったのです。**

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを越えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」

「奉仕が私の生き方となったのです。“奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」

2021-22年度のテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

(S e r v e t o C h a n g e L i v e s) といたします。

私たちも、奉仕を通じて、ロータリークラブ会員から、ロータリアンになれるよう努力したいと思います。